

玉造中学校学校便り～スローガン「当たり前が当たり前ができる」～



玉中便り



(生徒・保護者向け通信)

文責 教頭 矢羽久夫
2020. 7. 16

令和2年度の部活動が始まりました

7月1日から部活動を再開しました。1年生も7月14日から見学・体験、そして仮入部が始まりました。どの部の様子からも「再開できることの喜び」が感じられます。反面、ステイホームの生活が続いたことによる運動不足、これまでと違う新しい生活様式に沿った活動による戸惑いも感じられます。心身ともに段階を設け、あせらず徐々に活動していく所存です。

さて本校では例年、4月から5月の連休に部活動保護者会を実施してまいりましたが、今年度はコロナウイルス感染予防対策等の関係で実施しておりません。部活動保護者会につきまして、8月1日からの夏季休業中に、各部活動ごとに実施したいと思います。形式や開催方法については、従来の保護者会形式や書面資料の配付など、各部活動の顧問からお知らせしたいと思いますので、御理解いただきたく存じます。

7月15日 生徒総会が開催されました

生徒総会自体を中止したり、紙上提案による工夫で実施した中学校が多い中、本校では拡大全校評議会による生徒総会を実施しました。本部や各委員会、各部活動が議案書を作成し、従来通りの「学級討議」を経て、さらにこれまで行っていた全校生徒参加の「生徒総会」に代替する学級単位の「学級生徒総会」も実施しました。それらの総まとめとして、実施した次第です。

終了後の校長の講評は「ここで得たものを残りの全校生徒にどう伝えていくか、その伝え方で今年の玉造中が作られていくことを忘れずにいてください。」でした。各リーダーの皆さんには、会を終えた達成感と共に、これからの益々の活躍を期待しています。



成田市農業協同組合から精米の寄贈を受けました

過日成田市農業協同組合より成田産コシヒカリの精米600kgが成田市学校給食センターに寄贈されました。成田市の児童生徒が、安全・安心な地元成田産のおいしい米を食べて学校へ元気よく通い、勉強やスポーツなどいろいろな形で活躍してほしい、並びに地域の農業などについても学べる機会になればとの思いで、学校給食食材として活用していただきたいということでした。本校では7月17日の主食「麦ごはん」として出される予定です。

校長室だより「木もれ陽」第9号でもお伝えしましたが、2学年では成田西陵高校で栽培されたダイコンを各御家庭で調理していただきました。御協力ありがとうございました。成田西陵高校の校長先生も、皆さんのレポートを手に取り大変喜んでくださいました。また6月29日から7月3日の5日間の給食献立は、本校3年生が考案したものでした。千葉県は農業が盛んで、成田市ももちろんです。この機会が皆さんにとって「食への関心を高める一助」となることを望みます。

引き続き、マスク着用の励行と！

コロナ禍にあって既に5ヶ月…。報道では“引き続いての外出自粛”や“Go Toキャンペーン”の発言等様々な情報が交錯しています。

これまで「感染防止」の最良策である「マスク着用」についても、「熱中症予防の観点から登下校時一人になる場合は外しても良い」「体育の授業中は外す」等提唱されています。ただし、学校の生活空間では窓や扉を開放することで「密閉」は避けられても、狭い教室や廊下では、「密集・密着」まで避けるのは、かなり困難な状況でもあります。従って、せめてマスクは出来る限り着用させたいと考えております。

6月の学校再開時は「マスク着用で登下校や授業に臨むこと」が徹底されていきました。熱中症対策とも並行しながら、学校は今後も指導にあたりたいと思います。各御家庭においても、御理解・御協力の程をよろしくお願いいたします。